

平成30年度 一般会計事業報告

I. 会議の開催状況

1. 理事会

(1) 平成30年5月29日、第20回理事会を徳島県立産業観光交流センターで開催し、次の事項について審議を行い承認可決された。

- ①平成29年度事業報告並びに収支決算について
- ②評議員会の開催について
- ③報告 平成29年度における観光客の入り込み状況について

(2) 平成30年6月15日、第21回理事会を徳島県立産業観光交流センターで開催し、次の事項について審議を行い承認可決された。

- ①役員の選定について

(3) 平成31年2月15日、第22回理事会は理事及び監事全員の書面により、次の事項について決議があったものとみなされた。

- ①評議員会の開催について

(4) 平成31年3月28日、第23回理事会を徳島県立産業観光交流センターで開催し、次の事項について審議を行い承認可決された。

- ①平成30年度事業会計予算の補正について
- ②平成31年度事業計画並びに事業会計予算について

2. 評議員会

(1) 平成30年6月15日、第14回評議員会を徳島県立産業観光交流センターで開催し、次の事項について審議を行い承認可決された。

- ①平成29年度事業報告並びに収支決算について
- ②役員の選任について

(2) 平成31年3月28日、第15回評議員会を徳島県立産業観光交流センターで開催し、次の事項について審議を行い承認可決された。

- ①役員の選任について
- ②評議員の選任について
- ③報告 平成30年度事業会計予算の補正について
- ④報告 平成31年度事業計画並びに事業会計予算について

3. 監査

平成30年5月23日、平成29年度決算について監事から監査を受けた。
監査の結果、事業報告、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録は適正であると認められた。

4. 賛助会員合同会議

平成30年7月31日、当協会賛助会員との連携を深めるため、合同会議を開催し記念講演を行ったほか、観光事業功労者及び観光施設優良従業員の表彰を行った。

5. 法人の経営等に関する情報公開

定款、事業計画書、予算書、事業報告書、貸借対照表、正味財産増減計算書、収支計算書及び財産目録をホームページで公開している。

平成30年度 事業報告（附属明細書）

観光振興事業

1 観光振興－自主事業

（1）観光宣伝・情報発信事業

① 観光情報等の発信事業

観光情報サイト「阿波ナビ」を最大限に活用した観光情報発信については、観光団体等からの情報を幅広く収集し、「旬の情報」として効果的かつタイムリーに行うとともに、「とくしまフォト紀行」の更なるビジュアル化と付帯情報の充実化に努めた。

また、外国人観光客向けに、多言語（繁体字・簡体字・韓国語・英語）のSNSでの観光情報発信に努めた。

② 「とくしま観光・物産アドバイザー」制度事業

徳島県国際観光・物産交流特使制度に吸収し、国内外を対象とする徳島県の魅力発信にご協力いただくこととし、今年度は2名に委嘱した。

③ 観光情報誌「うずうず」作成事業

県内各地の旬の観光スポットやイベント・レジャー、新着情報などをタイムリーに掲載して、春・夏・秋冬に発行し、観光施設や観光案内所、SA・PAなどに広く配布した。

（発行部数）春号、夏号、秋冬号 各20,000部



④ 徳島観光情報ステーション管理運営事業

淡路島南パーキングエリア下り線の「徳島県観光情報ステーション」に、パンフレットやポスター、のぼり等を設置するとともに、映像等による徳島県の観光情報の発信を行った。

⑤ とくしま観光情報通信員の活用事業

県内各地の旬の観光スポットやイベント等を、地元住民の方から直接リポートいただく「とくしま観光情報通信員」制度により、阿波ナビを通してタイムリーな情報発信を実施した。

（平成30年度情報掲載件数） 53件

⑥ 四季の旅「とくしま花ごよみ」掲載事業

毎月1日の徳島新聞朝刊に、県内各地の花の名所を「四季の旅 とくしま花ごよみ」と称して掲載し、広く周知を図った。

よく知られた名所のほか、新たな花のスポットや花にまつわるイベント等、その月ならではのビューポイントを紹介して、域内交流の促進に繋げた。



⑦ 観光情報プラスワン事業

全国各地の観光客や旅行AGTなどに観光パンフレット類を送付する際、徳島県の旬な観光情報をプラスし、魅力発信に努めた。

⑧ おもてなしタクシードライバー等に対する観光情報提供

おもてなしタクシーは、「安全」「接遇マナー」「徳島の観光知識」の研修を受け、試験に合格し認定を受けた運転手が乗務するタクシーで、これらのタクシー乗車客への観光案内等に活用していただくため、徳島県内の観光資源等を網羅した「徳島県観光素材集」を提供した。

⑨ 観光団体や事業者等との情報交換会の開催や魅力再発見支援事業

県内の各DMO組織との連携強化を図り、各域内の魅力を発信するため、連絡会議を開催し意見交換を行った。

(2) 観光客誘致促進事業

【国内誘客事業】

① 四国四県観光協会連合による四国域内流動活性化事業

四国内旅客流動を活性化するため、大規模商業施設での四国4県観光PRキャンペーン、JR四国主要4駅や大規模商業施設、ネクスコ西日本の道路情報提供ブース等で観光パンフレットを設置した。

また、おもてなし四国の気運醸成を図るため、「第3回四国おもてなし感激大賞2018」を実施した。

ア. 四国4県観光PRキャンペーン

「イオン綾川」	7月 1日(土)
「エミフルMASAKI」	7月22日(日)
「ゆめタウン徳島」	7月28日(土)
「こうち旅広場とさてらす」	9月 1日(土)

イ. 第3回四国おもてなし感激大賞2018大賞
大賞 ふれあいの宿遊遊NASA

② 観光商談会等への参加事業

県主催の「オール徳島」観光商談会を始め、四国ツーリズム創造機構やJR四国等が主催する旅行AGT等を対象とした観光商談会や三旅連主催による旅行AGTへのPRキャラバンに参加し、本県の観光PRやイベント等の情報発信と旅行商品造成を働きかけた。

③ NHK大河ドラマ誘致推進協議会の発足事業

「戦国最初の天下人 三好長慶をNHK大河ドラマに！」を実現するため、平成30年6月12日にNHK大河ドラマ誘致推進協議会を発足させ、事務局を当協会内に設置した。

④ 農漁家民宿等の情報収集と阿波ナビ掲載による誘致策の展開

中山間地域の活性化に寄与するため、県内各地に拡がってきた農漁家民宿の運営情報を「阿波ナビ」に掲載し、情報発信に努めた。

【訪日客誘致事業】

① 着地型旅行商品造成促進事業

県内の既存観光資源を着地型旅行商品として開発・造成するため、現地視察を行うとともに、台湾メディアのFBで紹介した。

上勝町山犬嶽、慈眼寺穴禅定、上勝ビール他

② 海外からのMICE誘致等促進事業

ア. 徳島国際観光・物産交流特使制度事業

本県の観光・物産面の魅力発信や認知度向上による訪日客誘致を促進するため、「徳島国際観光・物産交流特使」の活動支援策として、名刺や多言語標記のパンフレット類などを提供した。

また、平成30年度から「とくしま観光・物産アドバイザー」制度を吸収し、2名に委嘱した。

イ. 四国インバウンド商談会2018への参加

四国運輸局と四国ツーリズム創造機構が主催する「四国インバウンド商談会2018」に参加し、東アジア地域、欧米豪等の旅行会社等を招請した場を活用して、観光客誘致を図った。

(日 程) 平成30年10月16日(火)

(場 所) 松山全日空ホテル

(招請者) 中国1社、韓国3社、台湾4社、香港3社、タイ2社、シンガポール1社、ベトナム1社、オーストラリア1社、フランス1社、アメリカ1社、国内ランドオペレーター5社
計23社24名

ウ. VISIT JAPAN トラベル&MICEマート2018への参加
国内最大のインバウンド商談会である「VISIT JAPANトラベル&MICEマート2018」に出展し海外のバイヤーとの商談を行い、観光資源や教育旅行・MICE実施での各種プランの紹介を行った。

(期 間) 平成30年9月20日(木)～22日(土)

(場 所) 東京ビックサイト：東京都

(招請者) 32の国と地域より374社(内MICEバイヤー29社)

(商談数) 31社

エ. 中国・香港からの誘致

◎商談会・営業活動

・四国観光商談会 in 上海

(日 程) 平成30年8月24日(金)

(場 所) オークラガーデンホテル上海

(参加者) 旅行会社25社 46名

・「日本秋祭り in 香港」徳島インバウンド商談会

(日 程) 平成30年11月12日(月)

(場 所) リーガルカオルーンホテル

(参加者) 旅行会社・メディア30社 51名

・徳島県医療観光セミナー 中国広州

(日 程) 平成30年12月20日(木)

(場 所) 広東和平国際旅行社会議室

(参加者) 旅行会社等 9社 14名

・四国観光商談会 in 香港

(日 程) 平成31年2月26日(火)

(場 所) The Royal Garden

(参加者) 旅行会社22社 35名

◎招請・視察

・中国・香港MICE取扱旅行社招請事業(VJ事業)

(日 程) 平成30年6月13日(水)～6月17日(日)

(連携先) 四国運輸局、(公財)高松観光コンベンション・ビューロー

(参加者) 中国・香港の旅行会社 4名

・中国MICE旅行社の視察支援

(日 程) 平成30年 9月29日(土)～9月30日(日)

平成30年10月22日(木)

(参加者) 中国の旅行会社ほか 9月4名 10月6名

- 香港旅行社の視察支援
 (日 程) 平成30年12月19日(水)～12月22日(土)
 (参加者) 香港の旅行会社 10社20名
- (日 程) 平成31年3月6日(水)～3月9日(土)
 (参加者) 香港の旅行会社 20名20名

◎受入支援

- 中国からのゴルフツアー受入支援
 (日 程) 平成30年11月及び平成31年3月
 (参加者) 延べ145名
- 香港からのゴルフツアー受入支援
 (日 程) 平成30年3月 3回 徳島空港利用
 (参加者) 延べ59名
- 香港からの農業視察ツアー受入支援
 (日 程) 平成30年9月10日(月)～9月14日(金)
 (参加者) 7名
- 中国広州からの温泉協会視察ツアー受入支援
 (日 程) 平成30年12月12日(水)～12月13日(木)
 (参加者) 6名

才. 韓国からの誘致

◎商談会・営業活動

- 韓国市場商談会inソウル
 (日 程) 平成30年6月5日(火)
 (商談社) 16社
- 旅行AGT等への営業活動
 (日 程) 平成30年12月18日(火)～22日(土)
 (訪問先) 17社

◎招請・視察

- 韓国女性向けブLOGGER「東四国」招請事業(VJ事業)
 (日程等) 平成30年 6月22日(金)～6月24日(日) 2名
 (日程等) 平成30年11月30日(金)～12月2日(日) 2名
 (連携先) 四国運輸局、(公財)高松観光コンベンションビューロー

- アシアナ連合の旅行AGT等招請
 (日程) 平成30年11月30日(金)～12月2日(日)
 (連携先) アシアナ航空大阪支店
 (参加者) 4名(旅行AGT3名、ランド社1名)
- MICE誘致招請
 (日程) 平成30年12月10日(月)～13日(木)
 (連携先) (公財)高松観光コンベンションビューロー
 (参加者) 5名(企業担当者3名、大学教授1名、旅行AGT1名)
- MONO JAPAN招請
 (日程) 平成31年2月15日(金)～2月17日(日)
 (連携先) (公財)高松観光コンベンションビューロー
 (参加者) 2名

◎受入支援

- KAIST海外研修受入支援
 (日程等) 平成30年4月23日(月)～25日(水) 32名
 (日程等) 平成30年10月17日(水)～20日(土) 31名
- モネサンスツアーの受入支援
 (日程等) 平成30年4月27日(金)～29日(日) 15名
 (日程等) 平成30年5月11日(金)～13日(日) 20名
 (日程等) 平成30年5月25日(金)～27日(日) 13名
- 韓国青少年連盟・仁川連盟夏季研修の受入支援
 (日程) 平成30年7月30日(月)～8月3日(金)
 (参加者) 31名(生徒25名、教師4名、連盟1名、ガイド1名)
- 韓国テレビショッピングによる東四国旅行商品PR事業(VJ事業)
 (日程) 平成30年8月～平成30年10月
 (連携先) 四国運輸局、(公社)香川県観光協会
 (参加者) 延べ128名
- ハナ銀行海外研修の受入支援
 (日程等) 平成30年10月10日(水)～13日(土) 28名
 (日程等) 平成30年10月24日(水)～27日(土) 33名
- モードツアーによるテレビショッピング事業の受入支援
 (日程) 平成30年11月末～平成31年2月末
 (参加者) 延べ830名

- その他の受入支援

香川&徳島 五感満足	ブライトスプーン	4月	17名
読書コンサルティング研修	TNCツアー	4月	28名
日本・徳島3泊4日ツアー	ツアータンク	6月	18名
高松・徳島2泊3日ツアー	ラッキーツアー	8月	17名
幼稚園研修団体	未来ジャパン	10月	23名
うどんツアー&アート	ブライトスプーン	12月	30名
四国会 日本旅行	ハロージャパンツアー	3月	9名

カ. 台湾からの誘致

◎商談会・営業活動

- 訪日台湾教育旅行誘致事業（一部訪日教育旅行促進事業）

現地説明会

（日 程）平成30年6月20日（水）～22日（金）

（場 所）高雄國賓大飯店、台中長栄桂冠酒店、台北國賓大飯店

（日 程）平成30年11月22日（木）～23日（金）

（場 所）桃園市立桃園高級中等學校、國立羅東高級職業學校

（日 程）平成31年3月12日（火）～14日（木）

（場 所）國立花蓮高級商業職業學校、國立中興大學附属臺中高級農業職業學校、長栄大學

交流座談会

（日 程）平成30年10月30日（火）

（招請者）台湾学校長他教育旅行関係者 80名

（会 場）ホテルイースト21東京

- 台湾3都市におけるセミナー

（日 程）平成30年9月5日（水）～7日（金）

（場 所）高雄君鴻國際酒店、台中長栄桂冠酒店、台北晶華酒店

- 台北国際旅行博覧会出展

（日 程）平成30年11月23日（金）～26日（月）

（場 所）台北市南港展覽館

（来場者）376,773人（対前年比+2.7%）

（その他）学校訪問8校

- 花蓮県慶修院での四国・徳島PRキャンペーン
 (日 程) 平成30年11月24日(土)
 (場 所) 花蓮県慶修院
- 台湾人女優を活用した誘客促進事業
 - ①徳島恋恋旅プロデュース撮影・SNS発信
 (日 程) 平成30年10月8日(月)～11日(木)
 (場 所) 関西空港～徳島市内～和歌山港～関西空港
 - ②台北国際旅行博覧会メインステージでの徳島恋恋旅PR動画配信等
 (日 程) 平成30年11月24日(土)
 (場 所) 台北市南港展覽館

◎招請・視察

- 旅行社・メディア視察
 (日 程) 平成30年4月10日(火)
 (招請者) 宏飛旅行社2名
 (視察先) 大歩危・祖谷地域

 (日 程) 平成30年4月14日(土)～15日(日)
 平成31年2月1日(土)～2日(日)
 (招請者) ライオングループJWIマーケティング1名
 (視察先) 徳島市、美馬市、大歩危・祖谷地域、上勝町
- 訪日台湾教育旅行誘致事業（一部訪日教育旅行促進事業）
 (日 程) 平成30年10月30日(火)～11月3日(土)
 (招請者) 台湾学校長他教育旅行関係者10名
 (視察先) 高知・愛媛・香川・徳島(2日～3日)

◎受入支援

- 訪日台湾教育旅行受入支援
 (学校名) 新北市立鶯歌高級工商職業學校(生徒16名、教師2名)
 (日 程) 平成30年4月16日(月)
 (内 容) 渦の道、本藍染め矢野工場、阿波おどり会館

 (学校名) 国立水里高級商工職業學校(生徒40名、教師2名)
 (日 程) 平成30年4月24日(火)～25日(水)
 (内 容) 徳島県立鳴門渦潮高等学校と学校交流、阿波おどり会館、
 渦の道
 (学校名) 慈濟大學附属高級中學(生徒34名、教師等4名)
 (日 程) 平成30年5月26日(土)
 (内 容) 渦の道、阿波おどり会館、脇町散策(着物着付け体験等)

(学校名) 新竹市立成徳高級中學 (生徒16名、教師1名)
(日 程) 平成30年5月28日 (月)
(内 容) 徳島県立鳴門渦潮高等学校と学校交流、阿波おどり会館、
渦の道

(学校名) 国立潮州高級中學 (生徒15名、教師3名)
(日 程) 平成30年5月27日 (日) ~ 28日 (月)
(内 容) 徳島市立高等学校と学校交流、阿波おどり会館

(学校名) 国立台南家齊高級中学 (生徒73名、教師4名)
(日 程) 平成30年6月7日 (木)、9日 (土)
(内 容) 阿波おどり会館、大歩危峡観光遊覧船

(学校名) 台南市興國高級中學 (生徒34名、教師2名)
(日 程) 平成30年10月21日 (日)、22日 (月) ~ 23日 (火)
(内 容) 徳島県立阿南光高等学校・徳島県立那賀高等学校と学校
交流、渦の道

(学校名) 桃園市立大溪高級中學 (生徒18名、教師4名)
(日 程) 平成30年10月23日 (火)
(内 容) 大歩危峡観光遊覧船、祖谷のかずら橋

(学校名) 華東臺商子女學校 (生徒113名、教師11名)
(日 程) 平成30年11月14日 (水) ~ 16日 (金)
(内 容) 徳島県立鳴門高等学校・徳島県立城西高等学校と学校交流、
鳴門公園

(学校名) 国立新化高級中学 (生徒25名、教師3名)
(日 程) 平成30年12月10日 (月)、11日 (火) ~ 12日 (水)
(内 容) 徳島県立富岡西高等学校と学校交流、大歩危観光遊覧船、
阿波おどり会館、うずしお観潮船

(学校名) 新北市立新北高級中學 (生徒21名、教師2名)
(日 程) 平成30年12月23日 (金)
(内 容) 渦の道、阿波おどり会館

(学校名) 国立嘉義高級中學 (生徒22名、教師2名)
(日 程) 平成31年1月22日 (火) ~ 23日 (水)
(内 容) 阿波おどり会館、鳴門渦潮

キ. その他の国からの誘致

◎商談会・営業活動

- ・瀬戸内での海外旅行会社等との個別情報交換会・意見交換会
（日 程）平成30年11月13日（火）
（場 所）TOBEオーベルジュリゾート（愛媛県 砥部市）
- ・四国インバウンド商談会in バンコク
（日 程）平成30年11月20日（火）
（場 所）ホテルセンターポイントターミナル21（タイ バンコク）
- ・VISIT JAPAN Travel Mart2018-ASEAN・INDIA-
（日 程）平成30年11月27日（火）～28（水）
（場 所）神戸国際展示場（兵庫県 神戸市）
- ・東南アジア市場に係るランドオペレーターとの現地商談会
（日 程）平成31年1月15日（火）
（場 所）鳴門グランドホテル（鳴門市）
- ・JAPAN EXPO THAILAND 2019
（日 程）平成31年1月25日（金）～27（日）
（場 所）セントラルワールドプラザ（タイ バンコク）
- ・MATTA Fair Kuala Lumpur 2019
（日 程）平成31年3月15日（金）～17（日）
（場 所）Putra World Trade Centre
（マレーシア クアラルンプール）
- ・現地旅行会社向け徳島県観光セミナー
（日 程）平成31年3月18日（月）
（場 所）Grand Paragon Hotel （マレーシア ジョホールバル）

（3）観光客受入対策事業

① 外国人受入態勢整備事業

県内観光施設で提供している体験プログラムの体験手順を、多言語表記（英語、台湾・香港（繁体字）、韓国語）に翻訳し、阿波ナビ多言語FBで発信した。

② 県内における二次交通利用促進事業

関西からの周遊・滞在を促す二次交通機関等の対策として、既存交通機関

(鉄道、フェリー、高速バス、路線バス)に働きかけ、関西空港や和歌山港を繋ぐ周遊切符の造成等を促した。

③ 観光人材育成研修支援事業

(公社)日本観光振興協会四国支部との共催により、徳島県及び四国の自治体観光主管課、観光協会(連名)、観光関連事業者・従事者、観光ボランティア団体や体験型観光事業者等を対象に、急速に成長しているアドベンチャーツーリズムについて、セミナーを実施した。

(日 時) 平成30年11月8日(木) 14:00~17:20

(会 場) 阿波観光ホテル

(講 師) ①(株)まちづくり観光デザインセンター

代表取締役社長 加藤肇子 氏

②(株)キャニオンズ

代表 ハリス・マイケル・ジョン 氏

(演 題) ①徳島の全てを資源にできる!

世界の潮流、アドベンチャーツーリズムの可能性

②アドベンチャーツーリズムの商品造成等、実践的なノウハウについて

④ 観光案内問い合わせ活用事業

観光客やマスコミ等からの問い合わせに対応するとともに、問合せの多い質問事項を「阿波ナビ」の新機能AIに反映させ活用した。

⑤ 香港季節定期便受入対応

平成30年12月から平成31年3月まで、阿波おどり空港に香港からの季節定期便が就航したことから、徳島県と協力し香港からのお客様を空港で出迎えた。

(4) その他の事業

観光振興面で功績のあった観光事業功労者6名を、平成30年7月31日開催の当協会賛助会員合同会議で表彰した。

また、過去の県観光協会理事長表彰の被表彰者の中から(公社)日本観光振興協会四国支部表彰に該当する適格者として、観光事業功労者2名と観光関係優良従事者1名を推薦した。

2 県からの受託事業

(1) 千客万来！「オール徳島」観光誘客プロモーション事業

本県への「観光客数」や「宿泊者数」を増加させるため、大手旅行会社等を活用した誘客促進キャンペーンや旅行会社に対するセールス、主要都市での観光キャンペーン等を実施した。

① 「#徳島あるでないで」キャンペーンの実施

大手旅行会社（OTA含む）等とタイアップし、本県への誘客につながるキャンペーンを実施した。

② 旅行会社向けセールスの実施

日本航空札幌支店等で徳島観光プロモーションを実施するとともに、東京や大阪等の旅行会社で観光素材・助成制度等の紹介を行った。

また、徳島県内の観光素材、着地型旅行商品等を旅行会社へ紹介するための「徳島県観光素材集」を作成した。

③ 一般向け観光プロモーションの実施

関東・関西の通信社・新聞社・雑誌等を対象とした「プレスツアー」を実施し、徳島の食や文化を紹介した。

また、福岡市で観光キャンペーンを開催するとともに、読売旅行の本県を訪れるツアーについて新聞折込み広告で告知を行った。

(2) 阿波おどり「春夏秋冬エキサイティング」事業

閑散期である冬期の観光誘客を促進するため、阿波おどりを組み込んだ企画旅行商品や誘客イベントに対して経費の一部を助成する制度を新設し、商談会等で助成制度の営業活動を行った。

営業活動（一例）

・第7回国内大交流コンベンション

（日 程）平成30年7月12日（木）

（会 場）ホテルイースト21東京

・2018しあわせぐるり、しこくぐるり。四国観光商談会

（日 程）9月27日（木）、10月10日（水）、10月24日（水）

（会 場）第一ホテル東京、ホテルグランヴィア大阪、キャッスルプラザ

(3) 徳島観光すいすい事業

観光誘客を促進するため、旅行会社が造成する企画旅行商品に対し貸切バス料金の一部を助成した。

【助成実績】 （ツアー数）115本

（バス台数）228台

（集客人数）8,166名

(4) とくしまロケーション・ブランド発信事業

撮影関係者に対する有用な情報提供や徳島でのロケ誘致活動を実施するとともに、本県での様々なロケ支援を行い、メディアを介した本県観光情報発信の露出増加に努めた。

また、映像制作関係者やメディアに関心の高い一般客を対象としたイベントに出展し、徳島県のPRに努めた。

・「第4回ふるさと甲子園」出展

映像制作関係者114人、一般客3,038人が来場。

(開催日)平成30年8月25日(土)

(開催場所)東京都千代田区秋葉原「秋葉原UDX」

(5) 魅力あふれる「阿波とくしま」観光誘客促進事業

観光誘客を促進するため、県内で開催されるイベントに対し支援を行った。

・ふるさとカーニバルを通じた観光誘客

第41回「ふるさとカーニバル阿波の狸まつり」(11/2~11/4)

への助成により、郷土芸能の発表や各市町村の特産品など、徳島の魅力をPRした取組みを支援した。

(6) 体験型観光ステップアップ事業

体験型観光の更なる飛躍を図るため、中部地域の教育旅行市場を開拓するための旅行会社招請、全国各地の体験型観光に取り組む団体等が集まる全国大会への参加を支援した。

① 徳島県修学旅行商品視察会

中部エリアの教育旅行市場に熱心な旅行会社を招請し、徳島県の教育旅行受入団体の取組みを紹介した。

(日時)平成31年3月4日(月)~6日(水)

(視察先)大鳴門橋架橋記念館エディ、渦の道、南阿波よくばり体験、そらの郷

(招請社)名鉄観光サービス(株)名古屋教育旅行支店

② 第15回全国ほんもの体験フォーラム in 長崎・五島参加支援

全国大会に集まる各地域のインストラクター等と情報交換し、先進地の取組み等を参考に徳島県の教育旅行受入体制のレベルアップを支援した。

(日程)平成31年3月21日(木)~22日(金)

(場所)長崎・五島列島

(参加者)南阿波よくばり体験、そらの郷の各インストラクター

(7) 阿波おどり「とくしま連」運営事業

徳島県のイメージアップをはじめ、郷土の伝統芸能である「阿波おどり」の継承やこれによる観光客の誘致促進を図るため、阿波おどり「とくしま連」の運営に係る業務を行った。

(8) 観光情報提供システム整備事業

観光客の誘致促進、受入態勢の充実を図るため、観光情報提供サイト「阿波ナビ」の適切な維持管理を行った。

(9) とくしまインバウンド強化事業（教育旅行促進）

主に東アジアの教育機関、教育旅行取扱旅行会社等を対象に、現地説明会や招請時に本県の魅力や受入体制のPRを行った。

また、県内学校との交流時には、学校交流の調整、通訳手配等、各種支援を行い、教育旅行の誘致促進に努めた。

(10) 「スポーツ王国」立国事業

県内のスポーツ施設やスポーツ合宿受入宿泊施設等と連携し、県外の企業や大学等のスポーツ合宿取扱旅行会社を営業訪問するとともに、思い出づくりサポートによる徳島県内での合宿リピーター拡大を図った。

また、今年度から新たな思い出づくりとして、藍のロゴと合宿団体名を刺繍したワッペンを提供した。

(旅行会社営業訪問) 5社
(思い出づくりサポート) 7団体



(11) 着地型観光・コンベンション事業

着地型観光プランの開発・造成や、ボランティアガイドの情報発信、旅行会社向けの商品の情報発信を行った。

また、コンベンション開催決定後に主催者に対するツアーの提案や、PR動画の作成、コンベンション参加者向けに着地型観光プランの紹介を行った。

3 収益事業

(1) 自主財源の確保

① 観光情報誌「うずうず」への広告掲載事業

うずうずの各紙面に広告枠を設けて、広告掲載を実施した。
(春号：1社、夏号：3社、秋冬号：1社、合計：5社)

② とくしま花へんろカレンダー協賛及び販売事業

第12回とくしま花のある風景フォトコンテスト入賞作品を掲載した「2019とくしま花へんろカレンダー」を作成し、協賛企業への販売や当協会名のバラ売りの販売を行った。

【発行部数 23,100部】
(協賛販売：20,100部/20社)
(当協会名：3,000部)



③ 徳島県観光ガイドマップ作成事業

徳島県内の観光情報を発信するため、県内全域の地図や主な観光施設、グルメなどを写真で紹介するガイドマップを作成し、県内外のキャンペーン等で広く配布した。

(発行部数) 250,000部

④ 阿波おどりベンダー事業

ダイドードリンコ(株)及び四国放送(株)と協力し、オリジナルの自動販売機(阿波おどりベンダー)による阿波弁の音声や阿波ナビのQRコードにリンクさせ、本県の観光情報を発信した。

また、ベンダーの売り上げの一部は、本県の観光振興に役立てることを目的に、平成31年3月13日に贈呈式が行われた。



コンベンション振興事業

1 コンベンション振興事業

(1) 情報発信事業

MICE事業の推進を目的とし、「国際MICEエキスポ」や「大阪MICEディスティネーションショーケース」へ出展し、本県のPRと誘致を行った。

① コンベンショントレードショーへの参加

ア. 第28回国際MICEエキスポへの参加

国内最大級のMICE商談会である「国際MICEエキスポ」に出展しMICE関連団体等に対するPRに努めた。

(期 間) 平成31年2月28日(木)

(場 所) 東京国際フォーラム

ホールE2(東京都千代田区)

(来場者数) 940名



イ. 大阪MICEディスティネーション・ショーケース2018への参加
大阪MICEディスティネーションショーケースへ出展し、MICE主催者等に対しPRと誘致に努めた。

(日 程) 平成30年12月6日(木)

(場 所) 大阪市中央公会堂(大阪府大阪市)

(来場者数) 610名

② ホームページでの情報発信事業

コンベンション振興部のホームページにおいて、主催者及び県内関係者に向けて、コンベンションの各種情報を発信した。

③ コンベンションセミナーの開催

徳島大学、阿南工業高等専門学校の協力で、各種支援・助成金等を紹介する「とくしまコンベンション支援セミナー」を開催し、本県への誘致促進に努めた。



ア. 徳島大学蔵本キャンパス

(日 程) 平成31年3月5日(火)

(場 所) 藤井節郎記念医科学センター 多目的室

イ. 徳島大学常三島キャンパス

(日 程) 平成31年3月6日(水)

(場 所) 日亜ホール(産学官連係ホール)

ウ. 阿南工業高等専門学校

(日 程) 平成31年3月8日(金)

(場 所) 阿南工業高等専門学校 会議室

(2) 誘致対策事業

① 「とくしまコンベンション誘致推進協議会」事業

コンベンション誘致による地域経済効果を高めるため、県市や商工会議所、その他関連団体等による「とくしまコンベンション誘致推進協議会」を運営し、産官学民の総力を結集したコンベンション誘致体制を整え、精力的に取り組んだ。

・平成30年度協議会の開催

(日 時) 平成31年3月20日(水) 13:30~

(場 所) アスティとくしま 2階 第4会議室

② 全国コンベンション誘致促進事業

全国規模のMICE誘致促進を図るため、本県のコンベンション施設等の視察において、各種調整とアテンドを行った。

(3) 受入支援事業

① コンベンション支援助成金の交付事業

コンベンション主催者に対し開催費を助成するほか、郷土芸能等のアトラクション助成やシャトルバス運行等の助成を行った。

(交付件数) 51件

(交付金額) 30,647,222円

② 主要観光施設の紹介及び割引制度の提供事業

コンベンション参加者に対して、各種観光パンフレットを提供するとともに、県内観光地の優待割引制度を提供し、県内での滞在性や周遊性を高めた。

③ 歓迎看板の設置事業

参加者が500名以上の全国規模のコンベンション開催時においては、徳島阿波おどり空港及びJR徳島駅に歓迎看板を設置した。

また、大規模なコンベンション開催時には街を挙げての歓迎ムードを高めるため、ホテル・飲食店等の入り口に歓迎ポスターを掲示した。

(歓迎看板設置大会数) 13件

(歓迎ポスター配布大会数) 7件



④ 大規模コンベンション開催情報発信事業

県内でのコンベンション開催情報を、テレビやラジオなどのメディアや、観光、宿泊、飲食、土産などの関連団体に対し提供した。

⑤ コングレスバッグの提供事業

コンベンション開催時、当協会が作成しているコンgressバッグに、大会名等を記載し安価に提供した。

(提供枚数) 7,280枚

⑥ 戦略的MICE誘致事業

主催者及び参加者向けの各種ツール（サポートブック、観光モデルプラン、食と土産の冊子、チームビルディング等）を活用し誘客を図るとともに、大規模コンベンション開催時には公共の場でのパーティプランの提案のほか、県内観光地優待割引パンフレットの作成を行った。

・県内観光地優待割引パンフレット

(作成部数) 30,000部

⑦ M I C E おもてなし事業

大規模コンベンション開催時に観光PRブースを設け、各種案内を行い参加者の満足度を高めた。

また、阿波おどりなど郷土芸能の紹介を行い、本県ならではの「おもてなしプラン」の提案を行った。

(4) 各種情報の収集と提供事業

国内・国際コンベンションの誘致を促進するため、観光庁やJ N T O (日本政府観光局)、J C C B (日本コングレス・コンベンションビューロー)等のノウハウや諸情報を活用するとともに、県や市町村、大学等の関係機関と連携して、開催計画などの情報収集と意向調査に努めた。

また、本県の「観光」や「食」、「伝統芸能」などの魅力あるアフターコンベンション情報を主催者に対し積極的に発信するとともに、主催者のWebサイトへの掲載や、前年度大会でのPRなどを行い、県内での滞在日数や周遊箇所数の拡大に努めた。

① コンベンション主催者へのアンケート

県内の主催者やコンベンション施設、旅行AGT等に対してアンケート調査を行い、今後の誘致策の情報収集に努めた。

② 各種M I C E 会合への参加

各種関係機関が開催するセミナー等に参加するとともに、他都市のM I C E 関連機関との連携を図るなど、積極的な情報収集に努めた。

(抜粋)

平成30年度日本コンgressコンベンション・ビューロー総会(東京都)
中国・四国地区コンベンション推進協議会平成30年度総会(島根県)

施設等管理運営事業

1. 徳島県立産業観光交流センター（アスティとくしま）の管理運営事業

（1）指定管理業務の充実・強化策

平成28年度から5年間、当協会が引き続き施設の管理運営を担っている。「安全・安心・快適」で「利用しやすい」施設づくりを第一義に、「人・物・情報」の交流拠点を目指し利用者サービスの向上に取り組むとともに、観光振興やコンベンション部門を含めた協会の総力をあげ、施設全体の稼働率向上に努めた。

また、利用促進を目的とした事業等を積極的に開催し、徳島の魅力を発信する拠点として、にぎわいづくりや地域の活性化を図った。

（2）利用状況

内 訳	平成29年度	平成30年度	対前年比
多目的ホール及び会議室			
開館日数（ホール）	356日	356日	100.0%
稼働日数（ホール）	215日	232日	107.9%
稼働率（ホール）	60.4%	65.2%	107.9%
使用料金額（ホール・会議室）	96,321,110円	118,229,980円	122.7%
駐 車 場			
利 用 台 数	189,276台	183,497台	96.9%
利 用 金 額	37,855,200円	36,699,400円	96.9%

（3）誘致活動状況

全国展示場連絡会議等にも積極的に参加し、県外コンベンション施設との交流を図り、誘致につながる情報収集を行った。

平成30年 5月31日（木） 北九州国際会議場（北九州市）

平成30年11月21日（水） プラサヴェルデ（静岡市）

平成30年11月28日（水） コンベックス岡山（岡山市）

平成31年 3月 5日（火） コンベックス岡山（岡山市）

（4）館内設備の維持更新等

施設設備の維持については、経年劣化状況や優先度を把握し、安全性とコストの両面から検討を行い、県との事前協議を綿密に行いながら効率的、効果的に実施した。

(5) 自主事業及び利用促進を目的とした事業展開

① 大会・会議等の誘致事業

コンベンション誘致担当との連携により、コンベンション誘致関連イベントに参加し、各団体や各種大会事務局等と商談することにより、コンベンションの誘致を図った。

(名 称) 第28回国際MICEエキスポ

(期 間) 平成31年2月28日(木)

(場 所) 東京国際フォーラム(東京都)

② 地元企業及び学校関係の会合、芸術・文化イベントの誘致

多目的ホールや会議室等の利用促進を図るため、企業の商談会や商品説明会、学校や各種団体の会合、芸術・文化イベントの開催場所として利用していただけるよう、積極的な営業活動を行った。

③ 秋の阿波おどり“阿波おどり大絵巻”

「ときめき★あわ旅メインイベント 秋の阿波おどり“阿波おどり大絵巻”」を、徳島県と共同開催した。

有名連による阿波おどり乱舞と観客の踊り体験の他、「徳島県阿波踊り保存協会」、「藍吹雪」の上演、「阿波人形浄瑠璃」、「阿波木偶三番叟まわし」、昨年度に引き続き、全国の阿波踊り連を招いて「全国阿波おどりコンテスト」を開催した。

また、県内の特産品やグルメ、民芸体験、観光・物産事業等の紹介ブースの出展により、交流人口の拡大やにぎわいの創出による地域活性化を図った。

事前に県外の旅行会社等への営業活動やPRキャンペーン等を行い、県外からの誘客を図った。

(開催日) 平成30年11月2日(金)～4日(日)

(入場者) 19,000名



④ アスティおどりひろば(県指定事業)

夏の阿波おどり開催期間中の昼間対策として実施したアスティおどりひろばは、「県内有名連による上演」に加え、「阿波おどり体験」や「阿波踊り浴衣の着付け体験」などを継続して実施した。

また、PR用リーフレットを早期に作成・配布し、県外旅行会社への営業活動を図るとともに、会場内の特産品コーナーの充実を図るなど、来場者増に努めた。

(開催日) 平成30年8月12日(日)～15日(水)

(入場者) 10,000名



⑤ 阿波おどり練習場所の提供と練習風景の観覧

多目的ホールの空き日を活用し、有名連の「はな・はるフェスタ」や「夏本番の阿波おどり」の練習場所として提供し、これらの情報をマスメディアや市内宿泊施設等に情報発信し、多くの観光客等に観覧していただくことで、にぎわいの創出やおもてなしの向上に繋がった。

(開催) 30年4月 はな・はる・フェスタ練習で7日間
30年6月 夏の阿波おどり練習で8日間



⑥ ふれあい広場等を活用した観光情報発信

県や市町村等と連携し、県内各地のタイムリーな話題や観光情報を提供する場として有効活用しており、今年度も引き続き、写真展やパネル展等を開催し、県内各地のPR活動を支援した。



開催期間	展示内容
3/31 ~ 5/6	藤咲き誇る石井町 藤まつり写真展
5/10 ~ 6/11	南阿波の観光の魅力紹介展
6/12 ~ 7/29	日和佐八幡神社秋祭り ちょうさ(太鼓屋台)写真展
8/1 ~ 8/30	第5回千年のかくれんぼフォトコンテスト写真展
9/2 ~ 10/15	三好長慶をNHK大河ドラマに!
10/17 ~ 1/31	第12回とくしま花のある風景フォトコンテスト写真展
2/1 ~ 3/28	鳴門百景フォトコンテスト写真展
2/5 ~ 3/27	アスティひな祭り

⑦ とくしま花のある風景フォトコンテスト

本県の美しい花の名所を写した作品を募り、広く周知する目的で開催し好評を博している「第12回とくしま花のある風景フォトコンテスト」を継続開催した。

また、ふれあい広場の活用策として、入賞作品を含む応募者の作品1名1点ずつを掲出した写真パネル展も併せて実施し集客を図った。

(募集期間) 平成30年7月 ~ 9月20日(木)

(応募者) 87名

(作品数) 209点

⑧ 明日亭徳島落語会

今回は、「桂 七福」の落語と「石焼いも子リサイタル」による演目を幕間に入れ、「第15回明日亭徳島落語会」を継続開催した。

(開催日) 平成31年1月6日(日)

(入場者) 150名



⑨ アスティとくしま開館25周年記念イベント

平成30年度は開館25周年に当たることから、館の設置目的でもある交流人口の拡大と観光振興に寄与することを目的に、次の公演を誘致・開催した。

ア. ディズニー・オン・クラシック

平成30年11月23日（金・祝）

イ. プラハ国立歌劇場オペラ「フィガロの結婚」

平成31年1月14日（月・祝）



⑩ 徳島ヴォルティス・パブリックビューイング

多目的ホールの空き日を利用して、アウェイ戦のパブリックビューイングを開催した。

（開催日）平成30年5月20日（日）

徳島ヴォルティス 対 ツェーゲン金沢 戦



⑪ 環境対応施策

今年度も、緑のカーテンの設置をはじめ、クールビズやウォームビズ対応に引き続き取り組むとともに、照明器具等を適宜照度効率の高いLED照明器具に交換する等、節電対策を図った。



⑫ その他

予約管理システムやホームページ等は、更なる利用者サービスの向上を図るため適宜改良・更新し、より利便性の高い施設づくりに努めた。

2. 徳島県立男女共同参画交流センター（ときわプラザ）の管理運営事業

「アスティとくしま」と同様平成28年度から5年間、引き続き施設の管理運営を担っており、「安全・安心・快適」かつ「利用しやすい」施設づくりを第一義とし、「人・物・情報」の交流拠点を目指し、利用者サービスの向上に取り組んだ。

また、各関係者等との連携を密にしながら、「アスティとくしま」を含めた一体的な施設運営や営業・広報活動を行い、「ときわホール」や研修室等の利用率向上と来館者数の増加に努めた。

(1) 利用状況

内 訳	平成29年度	平成30年度	対前年比
ときわホール			
開館日数	354日	353日	99.7%
稼働日数	150日	147日	98.0%
稼働率	42.4%	41.6%	98.1%
使用料金額	6,712,630円	6,018,920円	89.7%
展示ギャラリー			
開館日数	354日	353日	99.7%
稼働日数	104日	156日	150.0%
稼働率	29.4%	44.2%	150.3%

※利用金額には、研修室1及び2の収入も含む。

(2) 誘致活動状況

アスティとくしまと一体的に、大会・学会等誘致や利用促進に努めた。

(3) 事業実施状況

項 目	実 施 要 綱
徳島新聞「映画と催し」欄への掲載	「アスティとくしま」と同様に掲載し、利用者サービスの向上と施設のPRに努めた。

3. 徳島県立渦の道・大鳴門橋架橋記念館（エディ）の管理運営事業

渦の道等の管理運営については、共同管理運営者である(株)ネオビエントと連携し、入館者数の拡大と顧客満足度の向上に取り組んだ。



観光客に対する自主事業の展開や渋滞緩和策などのほか、渦の道と昨年度リニューアルオープンした大鳴門橋架橋記念館を、国内外の旅行AGT等に対し営業活動を行った。

(1) 利用状況


内 訳	平成29年度	平成30年度	対前年比
渦の道			
入館者数	527,829人	515,962人	97.8%
入館料	208,914,220円	200,560,590円	96%
エディ			
入館者数	55,136人	87,378人	158.5%
入館料	24,166,890円	38,137,140円	157.8%





(2) 自主事業

徳島県立渦の道・大鳴門橋架橋記念館エディ




項 目	内 容
鳴門公園地域渋滞 対策事業の実施	観光客が集中するゴールデンウィーク（4月28日～30日、5月3日～6日）や、お盆期間（8月11日～15日）に、徳島県や鳴門市をはじめ地元関係機関の協力のもと、鳴門公園地域の渋滞緩和に努めた。
館内エントランス ロビーお出迎え装飾	外国人観光客の増加に伴い、日本らしさの演出と訪問された国の方への歓迎ムードが高まるような装飾を、渦の道とエディのエントランス部分に施した。 春節の際には提灯等を飾付け、おめでたい雰囲気醸し出した。 
旅行者等への営業 活動	四国ツーリズム創造機構や県、鳴門市うずしお観光協会等が実施する商談会や旅行AGTへの営業活動に参加した。 外客誘致としては、四国インバウンド商談会のほか、タイやフィリピン等のランドオペレーターを対象とした商談会や、香港での現地営業など誘致活動を行った。
SNSの積極的な 活用	フェイスブックやツイッター、インスタグラム、weibo を活用し、渦潮の見頃時間やイベント情報等の情報発信を行った。 またSNS映えするように季節感溢れるフォトスポットを、渦の道とエディのエントランスに設置するとともに、ハロウィンやクリスマスには仮装グッズを貸出し、記念写真をSNSで拡散する仕組みを作った。 

渦の道

項 目	内 容
阿波おどりの上演	徳島市の有名連により10月と3月に渦の道展望室にて阿波おどりの上演や、観光客への阿波おどりレッスンなどを行い、利用促進及び顧客満足度の向上に努めた。 （10月14・21日、3月2日の合計3日間）。 

項 目	内 容
迎春イベントの実施	<p>渦の道では、初日の出イベントとして元旦午前6時30分に開館し、展望室では、すだちティーの振る舞いにより、地元特産品のPRにも努めた。</p> <p>また、エディでも7時30分の早朝開館を実施した。(初日の来場者283名)。</p> 
多角的な情報発信と積極的な取材受入れ	<p>台湾人ブロガーの上田太々氏を招請し、「女子旅」目線で鳴門市内にて取材・収録を行った。</p> <p>渦の道やエディを含む鳴門公園を中心とした撮影内容はFBやインスタグラム等で情報発信された。</p> <p>また NHK 松山放送局、NHK 大阪放送局での「渦潮を世界遺産に」といったテーマでのテレビ番組などの取材も積極的に受け入れた。</p>  
渦の道開館時間の延長	<p>渦の道の営業時間外に渦潮が発生する日は、開・閉館時間を延長した。特に夕方の時間延長について、お客様や旅行会社から延長の要望が多かったため、11月以降は閉館時間の延長のみとし、効率的な運営を行った。</p> <p>* 通年実施 (開館延長 5日、 169名) (閉館時間延長24日、1,551名)</p>
香港チャーター便就航受入体制の強化	<p>前年に引き続き、香港からのお客様をおもてなしするために、入口にウェルカムボードを設置するとともに、オリジナルのポストカードとスタッフ手作りの折鶴やストラップをセットにしプレゼントをした。</p> <p>また、中国人スタッフから季節に応じた挨拶を学び、中国語での挨拶も積極的に行った。</p> 
鳴門公園全体のにぎわいづくり	<p>平成30年度版の「鳴門公園うずうず散歩道」の公園マップの製作にあたり、各施設や店舗の情報共有を図りながら、鳴門公園内の観光案内及び周遊促進ツールとしての役割を担えるよう完成させた。</p>

大鳴門橋架橋記念館エディ

項目	内容
<p>渦の道との共通券 販売促進</p>	<p>土、日、祝日、春休み、GW、夏休み等の繁忙期に、渦の道とエディ共通券の屋外販売を実施した。 夏季休暇中には、共通券購入者限定イベント「なると金時クレーンゲーム（7月27日～8月31日）」を実施し、共通券の販売促進とサービス向上に努めた。</p> 
<p>多目的スペースの 活用</p>	<p>リニューアル後に新たに設けられたエディ3階「多目的スペース」において通年で催しを実施した。 ネイキッド展（4月1日～5月6日） 鳴門百景パネル展（4月19日～30日） 第九パネル展（6月1日～30日） 千年のかくれんぼ写真展（7月1日～31日） 鳴門渦潮文化コンクール展（10月6日～19日） 四国まるごと美術館（11月3日～12月16日） うたえまさる 切り絵展（2月28日～3～17） キッズルーム（通年）</p>  
<p>マスメディアとの 連携</p>	<p>夏休み期間中にファミリーで楽しめるイベントとして、テレビ鳴門、リビング鳴門と連携し「ムヤくんのゲームに挑戦!」、「なりきり studio」、「キッズレポ体験」を実施した。</p> 